

会社概要

2015年3月31日現在

商号 テクノホライゾン・ホールディングス株式会社
(英文名: TECHNO HORIZON HOLDINGS CO., LTD.)

資本金 25億円
従業員数 9名 (連結1,147名)
主要子会社

設立 2010年4月1日

事業内容 テクノホライゾングループの事業内容は「光学事業」と「電子事業」に分類され、テクノホライゾン・ホールディングス株式会社は傘下の事業会社の経営管理を行っております。

所在地 〒457-0071
愛知県名古屋南区千竜通(チカマトオリ)二丁目13番地1
TEL. 052-823-8551 (代)

代表者 代表取締役社長 野村 拓伸

ホームページ <http://www.technohorizon.co.jp>

光学事業	株式会社エルモ社 株式会社SUWAオプトロニクス
電子事業	株式会社タイテック 株式会社ファインフィットデザイン 株式会社中日電子 株式会社グラフィン

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

テクノホライゾングループ第5期(2014年4月1日から2015年3月31日まで)の報告書をお届けするにあたりましてご挨拶申し上げます。

当連結会計年度におきまして、電子事業は設備投資意欲の高まりからFA(Factory-Automation:工場自動化)関連が引き続き堅調に推移しました。一方で光学事業は事業構造改革として、大量生産主体から、高付加価値・中少量の適正規模な生産体制を構築する等、経営体質の改善に努めております。その結果、当社グループの業績は、売上高21,379百万円(前連結会計年度比9.0%減)、営業利益72百万円(前連結会計年度は営業損失1,908百万円)、経常利益315百万円(前連結会計年度は経常損失1,289百万円)となりました。当期純利益は120百万円(前連結会計年度は当期純損失3,401百万円)となりました。「成長と構造改革の両立」をはかる取組みは、高付加価値事業・商品の展開など、道筋を示すことができました。また、配当金につきましては1株につき2円といたしましたので、ご了承賜りますよう、お願い申し上げます。

当社グループの特徴は、「オプト(Optics:光学)」と「エレクトロニクス(Electronics:電子)」両分野の最新テクノロジーを広くカバーし、それが最大の強みとしております。今後、IT化が一層進む「教育」市場、中国を中心に自動化ニーズが高まる「FA」市場、高度化が求められる「医療」市場、セキュリティや自動車関連などのマーケットがさらに進む「安全・余暇」市場の4つの市場を重点として、成長を目指します。当社グループの基本方針である①各社の強みを活かす②グループ連携を活かす③販売ルートの強化④市場から信頼を得る製品づくりを行い更なる企業価値向上を目指します。

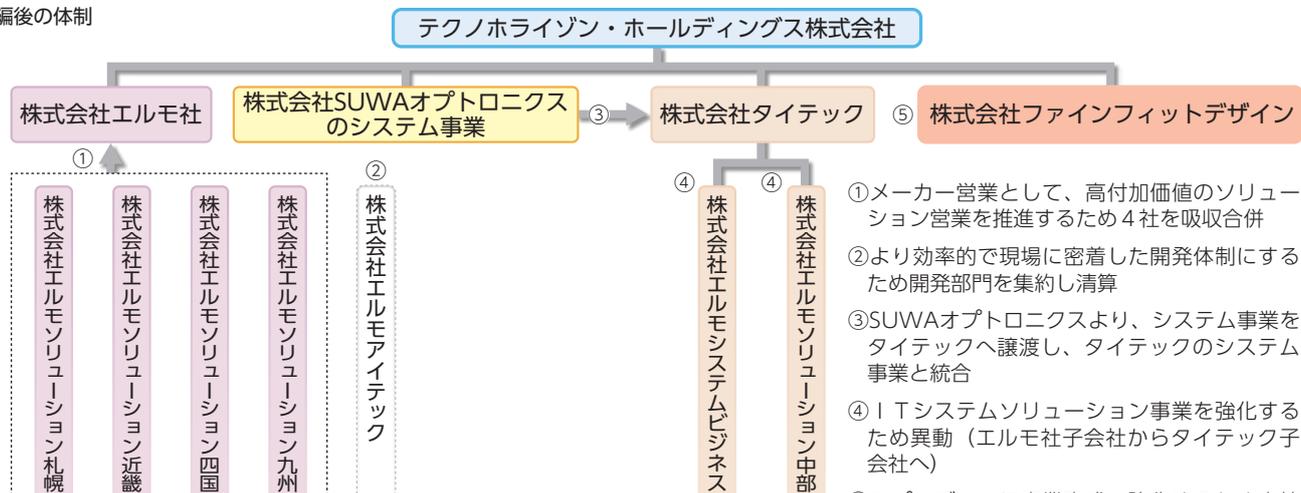
また、今後も以下の組織再編を行う等事業構造改革の実効性を高めるべく活動してまいります。

株主の皆様には引き続きテクノホライゾングループへの変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

経営を効率化できる組織再編の実現へ

・グループ全体の意思決定のスピードを上げる組織体制を構築して、企業経営の効率化、業務改善ならびに企業価値の向上を図るため、以下の子会社再編を行います。

再編後の体制



※今回の再編に関係ない子会社は省略しております。



代表取締役社長 野村 拓伸

テクノライゾングループの動き

光学事業

QBIC CLOUD CC-1



安全
余暇

やさしくホームセキュリティ。エルモの小型・高性能カメラQBICシリーズの新製品、CC-1は、誰にでも簡単設置、簡単録画の防犯カメラです。業務用カメラの性能と信頼性を備えながら個人でもお求めいただける低価格を実現しました。カメラの映像は高度なセキュリティで守られたクラウドサーバーが管理、スマホやPCからいつでも簡単にライブ映像の視聴、録画映像の確認が行えます。



Smart CVAS



教育

CVASは、大学の講義室、企業の会議室などに設置されるAV機器類を一括して操作・制御するシステムです。Smart CVASは、従来からのスイッチボタンやタッチパネルモニターによる据置型のCVASと異なり、iPodを始めとする各種タブレット型端末を利用したWiFi通信で、室内のあらゆる場所からAV機器の操作を可能とし、よりアクティブなプレゼンテーションや授業をサポートします。



顕微鏡用Cマウントレンズ対応WiFiカメラ



FA

汎用レンズマウント機構（Cマウント）をとることで、お客様が従来から使用されているデジタル顕微鏡、マイクروسコープなど測定・観察環境にワンタッチで取り付け可能です。充電体内蔵、ワイヤレスデータ転送の機能によりケーブルレスで取りまわしも簡単。タブレットとの連携でリモート撮影、観察記録も簡単にできます。



「アクティブアライメント工法」によるカメラモジュール組立受託サービス



FA

自社開発した「高精度カメラモジュール組立装置 SAA-5000」を用い、監視カメラ及び車載分野向けに、従来より高精度かつ高信頼性、そしてトータルコスト削減が実現可能なカメラモジュールの組立受託サービスを提供しています。



電子事業

FA向け高速3D計測用プロジェクター



FA

近年、部品の小型化や工場のオートメーション化が進み、人による目視や検査等が難しくなっており、ロボットが使用されることが増えました。これらに対応すべく、ロボットの目の代わりになるのが3D計測です。タイテックは長年の技術・経験を活かし3D計測用プロジェクターを開発し販売を開始しました。



インテリジェント画像処理カメラ及びサーボドライバー一体型ロボットコントローラ



FA

生産ラインで製品を自動認識する画像処理カメラは、用途に応じ機能追加も可能です。また、電源等の一体化により省エネ・省スペース・省配線を実現した、産業用ロボットコントローラとも連動が可能です。



モバイル決済・ポイント端末機 SDKソリューションパッケージ



安全
余暇

現在販売中のモバイル決済・ポイント端末「TM-P1000」に、今回新たにクラウド型のポイント・プリペイドサービスに対応したSDK（ソフトウェア開発キット）を拡張し、『SDKソリューションパッケージ』として提供を開始しました。

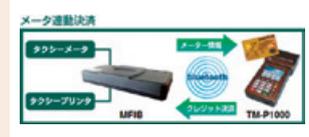


タクシーメーター連動決済システム



安全
余暇

現在販売中のモバイル決済・ポイント端末「TM-P1000」に、クレジット/ポイント/プリペイド等の決済金額をメーターから自動で取得・決済処理できるシステムを搭載し、タクシーメーター連動決済システムとして販売を開始しました。



卓上型水素ガス発生装置



医療

精製水を電気分解する事により水素ガスを発生させる装置で、濃度99.99%の純粋水素ガスが発生します。また、自動圧力調整を行い、純粋水素ガスだけを取り出し、不必要な酸素は強制的に放出するコンパクトで安全性の高い装置です。
※当機器は医療機器ではありません。



安全運転支援装置研究向け映像ロガー GT4A



FA

GT4Aは自動運転や先進運転支援装置(ADAS)の研究/開発用に向けた、HDカメラ対応の映像ロガーです。GT4Aは一般的な動画圧縮型ドライブレコーダーと違い、HDカメラの映像信号とGPS・CANなどの走行データを同期して非圧縮記録することができるため、映像信号の忠実な再現が可能になります。自動車メーカーや部品の研究/開発部門への導入を見込んでいます。



システム事業

システム事業を拡大

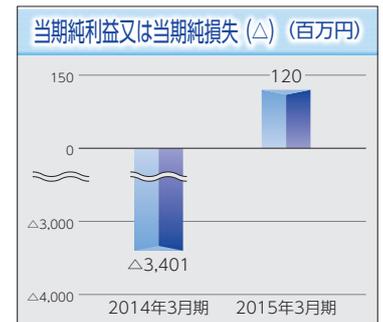


FA

タイテックでは、自社及びグループ企業で培った低コストでの基幹システム導入ノウハウを活かし、新規事業として2015年1月よりシステム事業がスタートしております。グループ企業からシステム事業と子会社2社を譲り受け、中小企業から大手企業、地方自治体と幅広い層へ「統合型基幹システム（ERP）」や社内ITインフラの提供が可能です。クラウド化や「IoT（Internet of Things）」といったIT技術の急速な進展により、企業のIT化ニーズは一層高まっており、今後もIT化への需要は拡大が予想されます。このITソリューションサービスの需要拡大に対して、「業務に精通したコンサル力」「最新技術を活用した統合構築力」「企画提案力」「サービスマネジメント力」をご評価頂けるよう取り組んでまいります。



連結業績ハイライト



連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当期 2015年3月31日
資産の部	
流動資産	15,857
固定資産	8,097
資産合計	23,954
負債の部	
流動負債	15,870
固定負債	2,144
負債合計	18,015
純資産の部	
株主資本	5,123
その他の包括利益累計額	723
新株予約権	13
少数株主持分	79
純資産合計	5,939
負債純資産合計	23,954

連結損益計算書

(単位：百万円)

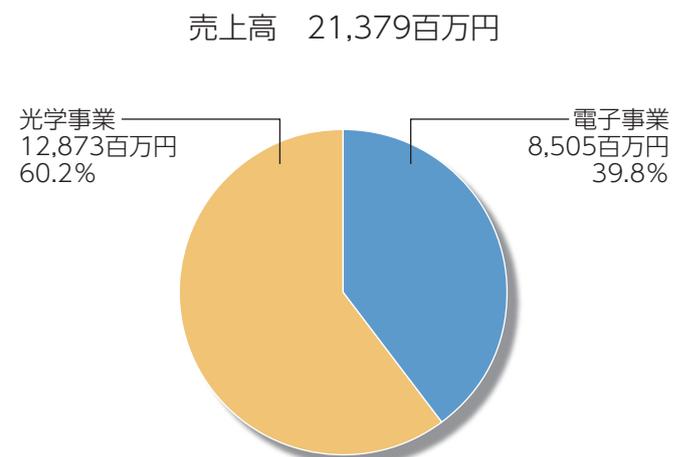
科目	当期 自2014年4月1日 至2015年3月31日
売上高	21,379
売上原価	16,885
売上総利益	4,493
販売費及び一般管理費	4,420
営業利益	72
営業外収益	365
営業外費用	122
経常利益	315
特別利益	96
特別損失	68
税金等調整前当期純利益	343
法人税等	213
少数株主損益調整前当期純利益	129
少数株主利益	9
当期純利益	120

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当期 自2014年4月1日 至2015年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,846
投資活動によるキャッシュ・フロー	△217
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,737
現金及び現金同等物に係る換算差額	64
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△44
現金及び現金同等物の期首残高	2,377
現金及び現金同等物の期末残高	2,333

事業別売上高構成



株式の状況

発行可能株式総数	50,000,000株
発行済株式総数	21,063,240株
株主数	4,005名

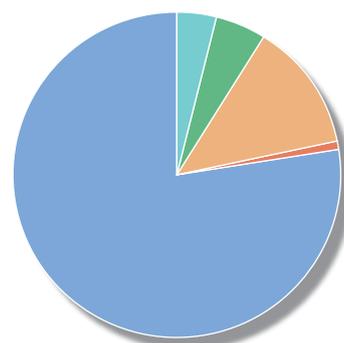
大株主

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
有限会社野村トラスト	1,480	10.98
有限会社野村興産	585	4.34
テクノホライゾン・ホールディングス従業員持株会	439	3.26
株式会社SBI証券	420	3.12
IDEC株式会社	404	3.00
榑 泰彦	295	2.20
第一生命保険株式会社	290	2.15
株式会社大垣共立銀行	264	1.96
榑 信之	236	1.76
榑 雅信	227	1.69

(注) 1. 当社は、自己株式7,585千株を保有しておりますが、上記大株主から除外しております。
2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

所有者別状況

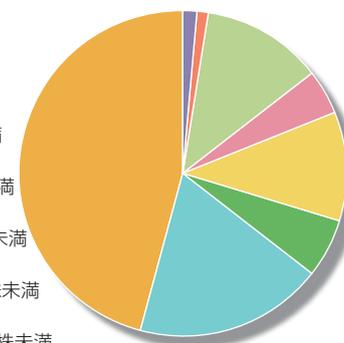
金融機関	847千株	4.03%
金融商品取引業者	1,038千株	4.93%
国内法人	2,718千株	12.91%
外国法人等	139千株	0.66%
個人・その他	16,318千株	77.47%



(注) 自己株式7,585千株は、「個人・その他」に含めて記載しております。

所有数別状況

100株未満	7千株	0.03%
100株以上～500株未満	287千株	1.36%
500株以上～1,000株未満	237千株	1.13%
1,000株以上～5,000株未満	2,515千株	11.94%
5,000株以上～10,000株未満	980千株	4.65%
10,000株以上～50,000株未満	2,262千株	10.74%
50,000株以上～100,000株未満	1,241千株	5.89%
100,000株以上～500,000株未満	3,882千株	18.43%
500,000株以上	9,650千株	45.83%



2015年6月26日現在

役員紹介

代表取締役社長	野村 弘伸	取締役	豊田 彰	常勤監査役	大原 茂
取締役	水上 康	取締役	玉置 浩一	監査役	原田 彰好
取締役	渡邊 哲也	取締役	寺澤 和哉	監査役	飯田 浩之
				監査役	井上 龍哉

※取締役 玉置 浩一・寺澤 和哉は、社外取締役です。

※監査役は全員、社外監査役です。

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日	同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
定時株主総会	毎年6月	公告掲載方法	電子公告により行います。 公告掲載URL http://www.technohorizon.co.jp (ただし、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に公告いたします。)
株主確定基準日	(1) 定時株主総会、期末配当金 3月31日 (2) 中間配当を行う場合 9月30日 (3) その他必要があるときには、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。	株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社		

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

テクノホライゾン・ホールディングス株式会社

〒457-0071
愛知県名古屋南区千電通(チカマトオリ)二丁目13番地1
TEL. 052-823-8551 (代)

